

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 20 日

Table with columns for 事務事業名 (事務事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (事務事業No, 所属課), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 手段名), 財務会計上の位置付け (予算科目), 事業期間 (単年度繰返し), and 法令根拠 (下館地区税務協議会会則).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about tax office training and seminars.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends. Columns include ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), and ③意図 (成果指標). Rows include training sessions, staff participation, and tax revenue trends.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume (expenses) trends. Columns include 01年度 (実績), 02年度 (実績), 03年度 (計画), and 期間限定総投入量. Rows list various expense categories like national treasury, prefectural, and local government.

Table showing internal expenses (事業費の内訳) for 02年度 (実績) and 03年度 (予算). Includes a row for '18 負担金補助及び交付金' and a total row.

事務事業名	下館地区税務協議会参画事業	事務事業No.	60501000713	所属課	税務課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 国税、県税、市町村税相互の連絡協調を図るとともに、税務事務の研究・改善を行なうことを目的として昭和41年2月から開始された					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 法令に精通していなければならないため常に研修が必要である					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	税務署、県税及び近隣市町村との円滑な関係を持ち各種共通税務行政の課題等について情報交換することによって税務事務の円滑な運営ができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	円滑な税務行政運営のためには必要不可欠である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	円滑な税務行政事務を最大の目的としているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	円滑な税務事務に支障をきたす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	他に手段がない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	研修等を受ける職員の人件費であり削減の余地はない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	事業内容から受益者負担は考えられない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																						
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																				
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国税関係実務研修会、徴収関係事例・実務研修会、三税申告相談実務研修会に参加することにより、税務署、県税及び近隣市町村との円滑な関係を持ち各種共通税務行政の課題等について情報交換することによって税務事務の円滑な運営につなげることができる。																				
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		○	×																		
	低下	×	×	×																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果	◎																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項			
(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	